



がんばってます Vol.54

呼吸器内科



呼吸器内科

かわさきじゅり
川崎樹里 医師

日々頑張っている仲間たちの姿を通して友愛記念病院を紹介するこのコーナー。
第54回の今回は、呼吸器内科にスポットを当てました。

Q 呼吸器内科は、
どんな病気を診る科ですか？

A 呼吸や肺に関係するさまざまな症状に対応しています。代表的な病気には、喘息、肺炎、間質性肺炎、肺がん、睡眠時無呼吸症候群、慢性閉塞性肺疾患(COPD)などがあります。

Q どんな患者さんが
受診されますか？

A 咳、痰などが週単位で長引くような場合、かかりつけ医の判断で当科をご紹介しますこととなります。友愛記念病院の他の科に通院されている方は、当科を受診することも可能です。

Q 友愛記念病院の
呼吸器内科の特徴は？

A 友愛記念病院は、古河市で唯一、常勤の呼吸器内科医がいる医療機関です。私を含め2名の医師が所属しています。また、当院には呼吸器外科医も常勤で1名在籍しています。3名のうち2名は、呼吸器系の病気の診断に必要な気管支鏡検査の指導医の資格も有しているベテランで、力を合わせて精度の高い検査を行っています。

また、呼吸器内科医と外科医、放射線治療医、緩和ケア医の常勤医がいることで、肺がんの診断や三大治療(手術、抗がん剤、放射線治療)はもちろん、緩和ケアまで一貫して院内で提供できていることも、当院の大きな特徴のひとつです。

呼吸器内科の対象となる 主な病気

- 胸部腫瘍：肺がん、胸腺腫、胸腺がん
悪性胸膜中皮腫
- 気道疾患：喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)
間質性肺疾患
- 肺感染症：肺炎、非結核性抗酸菌症、肺結核
慢性気道感染症
- 胸膜疾患：気胸、胸膜炎、膿胸
- その他：職業性肺疾患、睡眠時無呼吸症候群



気管支鏡検査

胃カメラより細いカメラを口から入れて、気管支の中を見ます。肺がんや間質性肺炎、感染症などの診断に欠かせない検査です。